

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 6 月号 令和 8 年 5 月 28 日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
 歯と口の健康週間
- 4 特集
 むし歯予防の基本

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

大田区内では急性呼吸器感染症が、第 14 週（3 月 30 日～4 月 5 日）の 32.19 から第 18 週（4 月 27 日～5 月 3 日）は 40.43 と微増傾向でした。第 19 週（5 月 4 日～5 月 10 日）は 21.19 と減少に転じましたが、連休で医療機関の休診の影響が考えられます。その為、引き続き注意が必要です。

【夏に多い感染症】

例年 6 月頃から乳幼児を中心に、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）が急増する傾向にあります。7～8 月頃が流行のピークとなります。

予防・対策として、こまめな石鹸による手洗い・うがいの実施、タオルの共有を避けること、咳エチケット、定期的な換気と湿度管理、十分な栄養と休息をとることが重要です。

38.5℃以上の高熱が 1 日以上続く場合や、水分が取れず脱水症状が疑われる場合は、速やかに医療機関を受診してください。

○大田区 HP「手足口病」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/teashikuchiyou.html

○大田区 HP「ヘルパンギーナ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/herpangina.html

○大田区 HP「咽頭結膜熱」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/pool-netsu.html

◆◆◆エムポックスが増えています◆◆◆

都内ではエムポックスの報告数が昨年より増加しています。令和7年（令和6年12月30日～令和7年12月28日）は17件でしたが、令和8年は第19週時点（令和7年12月29日～令和8年5月10日）で46件の報告があります。

エムポックスはエムポックスウイルスによる感染症です。主に、感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液に触れた場合（性的接触を含む）や、患者と近くで対面し長時間の飛沫（ひまつ）にさらされた場合などに感染します。

感染すると約7～14日の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、リンパ節の腫れに続き、全身や性器周辺に特徴的な発疹（水ぶくれ）が現れます。発症から2～4週間症状が持続し自然軽快するものの、小児あるいは接触の程度、患者の健康状態、合併症などにより重症化することがあります。

感染の不安がある方は、エムポックスの相談ができる医療機関にご相談ください。都内でエムポックスの相談ができる医療機関は下記のURLからご確認ください。

○東京都保健医療局「エムポックスについて」

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/sarutou/sarutou>

【6月1日～7日はHIV検査普及週間です】

大田区保健所では、HIV検査を匿名・無料で受けることができます。令和7年度は531人が検査を受けました。HIV検査と同時に、希望者には梅毒、クラミジア、B型肝炎の検査も行っています。正確な結果を得るために、感染が心配な機会があった日から60日以上（即日検査では90日以上）経過してから受けましょう。なお、大田区の検査はオンライン事前予約制です。

○大田区 HP「大田区 HIV 及び性感染症検査」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hiv/hiv.html

○HIV 検査・相談マップ

<https://www.hivkensa.com/>

○東京都保健医療局「東京都新宿東口検査・相談室」

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/aids/aids/kensa/kensa_yakan

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和8年4月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和8年4月に、4件（患者25名）の食中毒が発生しました（令和8年5月15日現在）。食中毒の病因物質はノロウイルス1件（患者12名）、アニサキス1件（患者1名）、カンピロバクター1件（患者2名）、カンピロバクター及びサルモネラが1件（患者10名）でした。原因施設はノロウイルス1件、カンピロバクター1件、カンピロバクター及びサルモネラ1件が飲食店（一般）、アニサキス1件が不明でした。

○東京都「都内の食中毒発生状況（速報値）」

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r8_sokuhou.html

3 トピックス

■歯と口の健康週間

6月4日から10日までは、「歯と口の健康週間」です。

今年の標語は、「歯みがきは からだを守る 最前線」です。

心と体を支える歯と口の健康づくりは、生涯にわたる口腔の健康管理を進めていくことです。乳幼児期から高齢期までのすべてのライフステージで、歯と口の健康に関する正しい知識を得て適切なセルフケアをおこなうとともに、定期的なプロフェッショナルケアを受けることが大切です。

この時期を自身の歯と口の健康を見直す機会ととらえて口腔の健康づくりに取り組みましょう。

～歯と口の健康週間 大田区のイベントのご案内～

＜歯と口の健康普及啓発パネル展・歯と口の無料健康相談＞

パネル展示期間：令和8年6月4日（木）午前11時～10日（月）午後4時30分

健康相談 日時：令和8年6月7日（日）午前11時～3時

※健康相談の来場者には、口腔ケアグッズをプレゼント（先着順）。

場所：グランデュオ蒲田 3階東西連絡通路

問合先：蒲田歯科医師会 電話（3735）1004

《保育園児、小中学生の図画・ポスター、作文の展示、表彰式》

日 時：令和8年6月21日（日）

展 示：午前10時～午後0時30分

表彰式：午前11時～午後0時30分

会 場：大田文化の森

問合先：大森歯科医師会 電話（3755）5400

《「歯と口の健康に関するパネル展」のご案内》

日 時：令和8年5月27日（水）午前11時～6月3日（水）午後3時

会 場：区役所本庁舎1階

問合先：健康づくり課 電話03（5744）1672

日 時：令和8年6月8日（月）午後4時～6月22日（月）午後1時

会 場：田園調布せせらぎ館 2階せせらぎギャラリー

問合先：調布地域健康課 電話03（3726）4146

日 時：令和8年6月25日（木）午後5時～6月30日（火）午後3時まで

会 場：大田文化の森 1階ロビー

問合先：大森地域健康課 電話 03（5764）0661

4 【特集】むし歯予防の基本

■むし歯はどうしてできるの？

むし歯は、口の中にいる細菌が糖분을餌にしてつくられた酸によって、歯が溶けた状態のことをいいます。

口の中には様々な種類の細菌が数多く存在しており、特にむし歯の病原菌としてはミュータンス菌がよく知られています。このミュータンス菌は、食事やおやつなどで摂取する食べ物や飲み物に含まれる糖분을栄養にして増殖し、その際に菌の周囲にネバネバのグルカンというノリのような物質を放出します。これが歯に強力に付着して、たくさんの細菌

の集合体が形成されます。細菌の集合体が増えて歯の表面の白っぽい汚れとなったものが、プラークです。

プラーク中の細菌は乳酸を産生し、歯の表面のエナメル質は酸によって溶けだします。この現象を脱灰といいます。脱灰が続いて歯の表面がザラついたり穴があいたりした状態が「むし歯」です。

■むし歯の治療は？

初期のむし歯は、表面のエナメル質が溶けだしても元にもどることがわかっています。この現象を再石灰化といいます。このため、表層のむし歯は削らずに再石灰化を期待します。

むし歯が進行すると歯に穴があき、歯を削って詰め物で歯を修復する治療を行います。この状態になるともう元に戻ることはありません。歯に穴が開いた状態でもあまり痛みを感じないことがあり、そのまま放置するとむし歯がさらに進行して歯髄（しずい）に達して歯髄を除去する必要があります。その場合の多くは、土台をたててかぶせ物をする治療が必要になります。

■むし歯を予防するには？

むし歯の予防法は大きく分けて3つあります。

1 むし歯菌を減らす

歯に付着しているネバネバの物質のプラークを取り除くことが有効です。プラークはうがいでは取れないので、歯ブラシやデンタルフロス、歯間ブラシなどを上手に使用する必要があります。セルフケアとプロフェッショナルケアの両方がむし歯予防には欠かせません。

2 むし歯菌の活動を抑える

細菌の栄養となる糖質、とくに砂糖分をとり過ぎないことと、よく噛んで食べて唾液の力を十分に発揮させることが大切です。

3 歯の質を強化する

フッ化物の利用は、歯質の強化が期待できます。フッ化物を歯に塗布する方法やフッ化物配合の歯磨剤、洗口剤などを使用する方法があります。かかりつけの歯科医などに相談して利用しましょう。

○厚生労働省 e-ヘルスネット「歯と口の健康」

<https://kenet.mhlw.go.jp/information/information/teeth-summaries/h-02>

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行う手洗いの状況を目で見えて確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、電話またはオンライン申請（LoGo フォーム）による申し込みができます。

【電話の場合】

大田区保健所生活衛生課（5764-0698）にお問い合わせください。

【オンライン申請（LoGo フォーム）の場合】

<https://logoform.jp/form/8BrJ/949830>

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

○「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

」」」

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、6月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 岡本